

## 埼玉県のアピールポイント(5月レポート)

山本 裕之

1年の留学もあと1か月で終わろうとしています。60歳定年を前にして本奨学制度に応募したのは2022年の秋。12月に埼玉県の面接があり、その時に質問されてうまく答えられなかった事があります。「あなたは山西省に留学して埼玉県の何をアピールしたいですか。」確かそのような質問だったかと思いません。とっさに川口市安行の植木で緑化をアピールしたい。」と答えた気がします。

その時の、わたしの中国のイメージは緑化が遅れていて、大気汚染が激しく乾燥した潤いのない中国というイメージでした。今思うと15年以上前にニュースで見た中国のイメージが固定化されていたのかと思います。現在のここ太原の学校や公園を見る限り緑化が遅れているという事はなく逆に花木が多く緑の景観が素晴らしいところです。

9か月を太原で過ごしてあらためて「埼玉県と山西省はなにができるのだろう」と考えてみました。

まずはネットで知り合った中国の数人に聞いてみると。山西省は多くの歴史遺産があるがアピールがうまくなく観光資源が生かされていない。その他に、農業協力はどうか、有名な産品としては石炭、酢、酒、麺料理。

私の当初の考えは、炭鉱の跡地の再利用、私もよくわかりませんが坑道内の一定の温度を利用した食品の熟成とか、埼玉県と同じ海が無い内陸として魚の養殖をしてはどうかと聞いてみましたが、一部黄河でナマズ?の養殖をしているが骨が多くてあまり成功していないような話、水系は南の方が豊富で山西省は養殖には向かないのではとの意見。チョウザメの養殖でキャビアとか利益率の高い魚の養殖はどうかと聞いてみましたが、あまりピンと来ていないようでした。

先生は授業の中で、今はみんな通販で物を買う時代になり、そして通販の品物は山西省以外から運ばれてくるため地元の商店で物を買わなくなり山西省の経済は良くないと言っていました。

では埼玉県の知名度はどうか。これは言うまでもありませんが、日本のどこから来ましたかと聞かれて、東京の近くですと思わず答えてしまうのが現状です。そこで、「埼玉(qiyu)」をキーワードでネットを見ていたら、聖地巡礼の

動画が出てきました。「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」秩父を舞台としたアニメで、このアニメの聖地巡礼で秩父を訪れた中国人の投稿動画でした。この動画がなかなか素晴らしく、私も秩父には行ったことがあります。また訪問したくなりました。その他にも「クレヨンしんちゃん」の春日部を訪れた投稿動画とかもありましたが、これはちょっと残念な内容でした。アニメから日本に興味を持つ中国の人はまだ多いようです。

あまり深く考えていなくて恐縮ですが、私が思う「埼玉県と山西省はなにができるのだろう」その試案は。

### ① 相互交流

小麦サミット 山西省は何と言っても麵文化です。中国内でも”面食”

(小麦粉で作った料理)の発祥地と認識され麵料理が有名です。そして埼玉県も古くから麦が生産され、現在は高品質の小麦などを推進しているようです。そこで、麦をテーマに見学会やサミットを開くというのはいかがでしょうか。もしかしたら将来に向けて何か協業ができるものが見いだせるかもしれません。

その他に、林業や魚の養殖など、各分野ごとに見学会を計画するのも面白いかと思います。

### ② 山西省への観光誘導

「地下文物陝西、地上文物山西」(地下の遺産は陝西省(せんせいしょう)、地上の遺産は山西省(さんせいしょう))という言葉があり、西安の兵馬俑など地下に埋まっている遺産は陝西省で、山西省には北魏、隋、唐、明などの地上にそのままの建築遺産や仏像などが多くあります。世界遺産も石仏の大同、仏教の五台山、昔のまま残った平遥古城など。埼玉県の公民館の講座やシニア大学などで中国の歴史をレクチャーするとともに歴史観光ツアーを誘導するのはどうでしょうか。

### ③ 埼玉県への観光誘導

一番重要な中国から埼玉県への観光誘導ですが、実はこれが一番難しいです。ここはやはり日本が誇るアニメに頼るのがいいかと思います。一番いいのは、中国で圧倒的に露出度が高い「クレヨンしんちゃん」です、ですが残念ながらゲゲゲの鬼太郎の境港のようなオブジェはなく、

スラムダンクのような象徴的な景色がない。

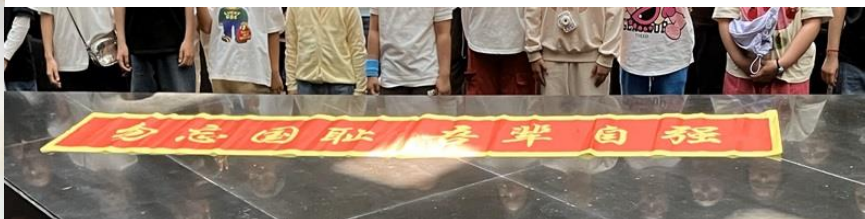
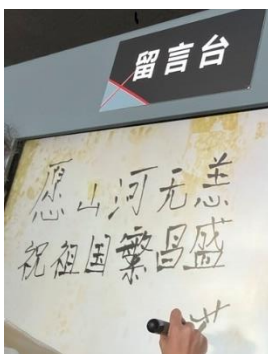
私はアニメをあまり見ないのですが、アニメ好きな友達に聞いたところ、「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」以外にも「ヤマノススメ」、「心が叫びたがってるんだ。」、「らき☆すた」など埼玉県を舞台としたアニメは他にもあるようです。すでに発信しているのかわかりませんが、この辺りも中国、世界に向けてのアピールポイントかもしれません。

このレポートを書いているのが6月2日(日)で、あと授業が2週間、期末試験期間が2週間(試験は3科目しかないのでほとんど自習期間になるかと思いますが)で1年間の語学留学が終了します。帰国した後の仕事探しをどうするかなど気になることがチラつき始めていますが、終わりよければすべて良しの気持ちであと1か月しかり勉強したいと思います。

(写真)

#### 1. 劳动节(ゴールデンウィーク)は東北3省旅行へ

抗日に関してどのような展示がされていて、どれだけの人が関心をもって、どのような人たちが見に来るのだろうか。満州はどんなところだったのか。多くの人、多くの子供たちが見に来ていた。かれらは何を思うのだろうか。



## 2. 天龙山石窟

太原からバスで一時間ほど行った「晋祠公園」からさらにバスで30分山に登ったところにある唐時代の石窟群。すばらしいの一言だがここでも日本という言葉が耳に入ってきた。どの石窟の仏像の顔も切り取られてないのが私も気になっていたのだが、どうやら戦前日本人の骨董商が仏像の顔を切り取って持ち帰ったらしい。日本人は悪いことをするという言葉が聞こえてくる。

別の場所の石窟に行った時も同様に仏像の顔だけなかったので、結構大々的に各地の石窟で盗んだようだ。現在世界各地の博物館に顔だけ飾られているとの事で、デジタル館という場所で立体的に映像再現された展示があった。



## 3. 中級クラスの朝いちばんの状況

当初34人だった中級クラスも、いまは朝の始業時点で9人ぐらいに。

理由は朝が弱いから、そして時間に寛容なお国柄なのか8時の授業開始に間に合わせようという意識が薄いのか。1時間後にはだいたい半数がそろいます。

